
「夏の海ってどんなところ？ その2」

三毛猫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「夏の海ってどんなところ？ その2」

【Nコード】

N0856BA

【作者名】

三毛猫

【あらすじ】

——ひとりで海に遊びに行ったら、変な女の子に出会った。

【無表情】 【海】 【冷蔵庫】のお題で書かれた掌編です。

以前texproにて公開していました。現在pixivにても「三毛猫の三題話」の一遍として公開中です。

夏の海に一人で来たのが間違いだった。子供は元気いいな」と、家族連れに目をやると、親がさつとバスタオルで子供の体を隠し、女の子のグループに声をかけようとしたら、「ふん」と鼻で笑われて相手にもされなかった。

しゃーねえ帰るか、と海に背を向けたとき、「ミルクバーにひやくえん」と書かれたのぼりが目に入った。麦わら帽子をかぶり、白い袖なしのワンピースを着た小学校高学年くらいの少女が、砂浜に置かれた白いワンドアの冷蔵庫？の側に、クーラーボックスを持って立っている。

近くに寄ると、少女は無表情にハンドベルをカランカランと鳴らしていた。

「ひとつ、くれ」と小銭を差し出したら、少女は無言でクーラーボックスからミルクバーをひとつ取り出してこちらに差し出した。棒の部分割り箸で、どうやら手作りらしい。

「手作りなの？」と聞いたら、「じつえんはんばい」と少女が言って、ボウルに牛乳をあげ、砂糖を入れてかき混ぜ、それからボウルごと横の冷蔵庫に入れた。

十秒も待たずに少女がボウルを取り出すと、既に半分凍っていて、それをスプーンでかき混ぜて試験管のようなアイスの型にぎゅうぎゅうと詰めて、最後に割り箸を差した。そして型ごとまた冷蔵庫にいれて、十秒して取り出したらもうすっかり固まっていた。

あんまり固まるのが早いので「……ずいぶん強力な冷凍庫だね？」と尋ねたら「ただの冷蔵庫……」という答えが返って来た。よく考えてみると、付近に発電機のようなものはないし、どうやって動いているんだかわからない。思わず、勝手に冷蔵庫のドアを開けてしまつたら、冷蔵庫の中には麦わら帽子をかぶって白いビキニ水着を着た中学生くらいの女の子が入っていた。

「きゃ、急に開けないうございますよう」と言つて少女が吐いた息が凍つて落ちた。

「雪女式……？」ずいぶんとエコな冷蔵庫だなあと思つた。

（後書き）

【夏の海】 【麦わら帽子】 【雪女】 その2でもあります。無事に夏の海に来ることができたようで一安心。冷蔵庫に入って山を下りて来たんですね。本当はこのお話は 300 行程度の短編で書こうとしていたのですが、挫折して短くまとめ直したものです。ハンドベルの無表情少女は座敷童子。下りて来たはいいものの帰りの電車賃が無くて二人して旅費と滞在費を稼いでいるといったところ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0856ba/>

「夏の海ってどんなところ？ その2」

2012年1月1日23時47分発行